

# 令和3年度 財政状況資料集

## 総括表（市町村）

都道府県名	山梨県		市町村類型	I - 2	指定団体等の指定状況		区分		令和3年度(千円)	令和2年度(千円)	区分		令和3年度(千円・%)	令和2年度(千円・%)																																																																																																																																																																											
					財政健全化等	×	歳入総額	令和3年度(千円)			令和2年度(千円)	実質収支比率			令和2年度(千円・%)																																																																																																																																																																										
市町村名	富士吉田市		地方交付税種地	I-3	財源超過	×	歳入総額	31,808,178	35,191,611	実質収支比率	8.0	6.1																																																																																																																																																																													
					首都	×	歳入歳出差引	1,947,837	1,943,620	経常収支比率	82.2	82.1																																																																																																																																																																													
					近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	1,020,246	1,274,069	(※1)	(86.8)	(86.9)																																																																																																																																																																													
					中部	×	実質収支	927,591	669,551	標準財政規模	11,650,507	11,039,041																																																																																																																																																																													
人口	令和2年国調(人)		産業構造(※5)	中部	×	単年度収支	258,039	-21,840	公債費負担比率	9.6	8.7																																																																																																																																																																														
	平成27年国調(人)			過疎	×	積立金	6,383	4,254	健全化判断比率																																																																																																																																																																																
	増減率(%)			-5.0	山振	×	繰上償還金	0	0	実質赤字比率	-	-																																																																																																																																																																													
住民基本台帳人口(※7)	令和04.01.01(人)		第1次	低開発	×	積立金取崩し額	0	1,400,000	連結実質赤字比率	-	-																																																																																																																																																																														
	うち日本人(人)			252	268	指数表選定	×	実質単年度収支	264,422	-1,417,586	実質公債費比率	8.3	8.0																																																																																																																																																																												
	令和03.01.01(人)		第2次							将来負担比率	0.8	22.7																																																																																																																																																																													
	うち日本人(人)			1.1	1.1																																																																																																																																																																																				
	増減率(%)		-0.9																																																																																																																																																																																						
	うち日本人(%)		-0.9																																																																																																																																																																																						
	面積(km <sup>2</sup> )		121.74	第3次																																																																																																																																																																																					
人口密度(人/km <sup>2</sup> )		382																																																																																																																																																																																							
世帯数(世帯)		18,337																																																																																																																																																																																							
職員の状況																																																																																																																																																																																									
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	18,054,050	18,074,227																																																																																																																																																																														
	市区町村長	1	8,500		一般職員	365	1,122,010	3,074	うち公的資金	15,125,987	15,408,229																																																																																																																																																																														
	副市区町村長	2	6,800		うち消防職員	-	-	-	地方債現在高(臨時財政対策債除き)	9,923,746	9,930,659																																																																																																																																																																														
	教育長	1	5,900		うち技能労務職員	2	*	*	債務負担行為額(支出予定額)	899,030	1,324,523																																																																																																																																																																														
	議会議長	1	4,000		教育公務員	14	50,088	3,578	収益事業収入	-	-																																																																																																																																																																														
	議会副議長	1	3,700		臨時職員	-	-	-	土地開発基金現在高	1,709,374	1,709,275																																																																																																																																																																														
	議会議員	18	3,600		合計	379	1,172,098	3,093	財政調整基金	4,011,762	3,665,379																																																																																																																																																																														
					ラスパイレシ指数			98.9		積立金現在高	2,687	2,687																																																																																																																																																																													
										減債基金	7,493,438	5,646,143																																																																																																																																																																													
										その他特定目的基金																																																																																																																																																																															
<table border="0"> <tr> <td>一般会計等の一覧</td> <td>事業会計の一覧</td> <td>公営企業(法通)の一覧</td> <td>公営企業(法非通)の一覧</td> <td>関係する一部事務組合等一覧</td> <td>地方公社・第三セクター等一覧</td> </tr> <tr> <td>項番</td> <td>会計名</td> <td>項番</td> <td>会計名</td> <td>項番</td> <td>組合等名</td> <td>項番</td> <td>団体名</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(※3)</td> </tr> <tr> <td>(1)</td> <td>一般会計</td> <td>(3)</td> <td>国民健康保険特別会計</td> <td>(7)</td> <td>水道事業会計</td> <td>(10)</td> <td>富士五湖広域行政事務組合一般会計</td> <td>(20)</td> <td>富士吉田市スポーツ協会</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>看護専門学校特別会計</td> <td>(4)</td> <td>介護保険特別会計</td> <td>(8)</td> <td>市立病院事業会計</td> <td>(11)</td> <td>富士五湖広域行政事務組合富士五湖聖苑特別会計</td> <td>(21)</td> <td>富士吉田市土地開発公社</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(5)</td> <td>介護予防支援事業特別会計</td> <td>(9)</td> <td>下水道事業会計</td> <td>(12)</td> <td>富士吉田市外二ヶ村恩賜県有財産保護組合一般会計</td> <td>(22)</td> <td>ふじやまビール</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(6)</td> <td>後期高齢者医療特別会計</td> <td></td> <td></td> <td>(13)</td> <td>山梨県市町村総合事務組合一般会計</td> <td>(23)</td> <td>ふじよしだ定住促進センター</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(14)</td> <td>山梨県市町村総合事務組合電子化事業及び会館管理・研修事業特別会計</td> <td>(24)</td> <td>エフエム富士五湖</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(15)</td> <td>山梨県市町村総合事務組合一般廃棄物最終処分場事業特別会計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(16)</td> <td>山梨県市町村総合事務組合入札参加資格審査事業特別会計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(17)</td> <td>山梨県市町村総合事務組合交通災害共済事業特別会計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(18)</td> <td>山梨県後期高齢者医療広域連合一般会計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(19)</td> <td>山梨県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>															一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法通)の一覧	公営企業(法非通)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名							(※3)	(1)	一般会計	(3)	国民健康保険特別会計	(7)	水道事業会計	(10)	富士五湖広域行政事務組合一般会計	(20)	富士吉田市スポーツ協会						(2)	看護専門学校特別会計	(4)	介護保険特別会計	(8)	市立病院事業会計	(11)	富士五湖広域行政事務組合富士五湖聖苑特別会計	(21)	富士吉田市土地開発公社								(5)	介護予防支援事業特別会計	(9)	下水道事業会計	(12)	富士吉田市外二ヶ村恩賜県有財産保護組合一般会計	(22)	ふじやまビール								(6)	後期高齢者医療特別会計			(13)	山梨県市町村総合事務組合一般会計	(23)	ふじよしだ定住促進センター												(14)	山梨県市町村総合事務組合電子化事業及び会館管理・研修事業特別会計	(24)	エフエム富士五湖												(15)	山梨県市町村総合事務組合一般廃棄物最終処分場事業特別会計														(16)	山梨県市町村総合事務組合入札参加資格審査事業特別会計														(17)	山梨県市町村総合事務組合交通災害共済事業特別会計														(18)	山梨県後期高齢者医療広域連合一般会計														(19)	山梨県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計							
一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法通)の一覧	公営企業(法非通)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧																																																																																																																																																																																				
項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名							(※3)																																																																																																																																																																											
(1)	一般会計	(3)	国民健康保険特別会計	(7)	水道事業会計	(10)	富士五湖広域行政事務組合一般会計	(20)	富士吉田市スポーツ協会																																																																																																																																																																																
(2)	看護専門学校特別会計	(4)	介護保険特別会計	(8)	市立病院事業会計	(11)	富士五湖広域行政事務組合富士五湖聖苑特別会計	(21)	富士吉田市土地開発公社																																																																																																																																																																																
		(5)	介護予防支援事業特別会計	(9)	下水道事業会計	(12)	富士吉田市外二ヶ村恩賜県有財産保護組合一般会計	(22)	ふじやまビール																																																																																																																																																																																
		(6)	後期高齢者医療特別会計			(13)	山梨県市町村総合事務組合一般会計	(23)	ふじよしだ定住促進センター																																																																																																																																																																																
						(14)	山梨県市町村総合事務組合電子化事業及び会館管理・研修事業特別会計	(24)	エフエム富士五湖																																																																																																																																																																																
						(15)	山梨県市町村総合事務組合一般廃棄物最終処分場事業特別会計																																																																																																																																																																																		
						(16)	山梨県市町村総合事務組合入札参加資格審査事業特別会計																																																																																																																																																																																		
						(17)	山梨県市町村総合事務組合交通災害共済事業特別会計																																																																																																																																																																																		
						(18)	山梨県後期高齢者医療広域連合一般会計																																																																																																																																																																																		
						(19)	山梨県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計																																																																																																																																																																																		

(注釈) ※1: 経常収支比率の( )内の数値は、「減収補償(特例分)」「猶予特例債」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。  
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。  
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。  
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。  
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。  
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(\*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。  
 ※7: 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※8: 職員の状況については、令和3年地方公務員給与実態調査に基づいている。

(1) 普通会計の状況 (市町村)

歳入の状況 (単位 千円・%)				
区分	決算額	構成比	經常一般財源等	構成比
地方税	6,422,035	19.0	6,239,423	54.4
地方譲与税	140,957	0.4	140,957	1.2
利子割交付金	4,930	0.0	4,930	0.0
配当割交付金	34,916	0.1	34,916	0.3
株式等譲渡所得割交付金	45,242	0.1	45,242	0.4
分離課税所得割交付金	-	-	-	-
地方消費税交付金	1,223,460	3.6	1,223,460	10.7
ゴルフ場利用税交付金	4,736	0.0	4,736	0.0
特別地方消費税交付金	-	-	-	-
自動車取得税交付金	-	-	-	-
軽油引取税交付金	-	-	-	-
自動車税環境性能割交付金	12,911	0.0	12,911	0.1
法人事業税交付金	79,882	0.2	79,882	0.7
地方特例交付金等	174,725	0.5	168,249	1.5
個人住民税減収補填特例交付金	36,314	0.1	36,314	0.3
自動車税減収補填特例交付金	4,038	0.0	4,038	0.0
軽自動車税減収補填特例交付金	3,205	0.0	3,205	0.0
新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特例交付金	131,168	0.4	124,692	1.1
地方交付税	3,684,970	10.9	3,165,712	27.6
普通交付税	3,165,712	9.4	3,165,712	27.6
特別交付税	519,258	1.5	-	-
震災復興特別交付税	-	-	-	-
(一般財源計)	11,828,764	35.0	11,120,418	97.0
交通安全対策特別交付金	6,871	0.0	6,871	0.1
分担金・負担金	577,079	1.7	-	-
使用料	286,016	0.8	14,090	0.1
手数料	159,884	0.5	-	-
国庫支出金	5,378,058	15.9	-	-
国有提供交付金(特別区財調交付金)	159,422	0.5	159,422	1.4
都道府県支出金	1,224,659	3.6	-	-
財産収入	124,509	0.4	91,058	0.8
寄附金	7,249,293	21.5	-	-
繰入金	2,309,160	6.8	-	-
繰越金	1,603,620	4.8	-	-
諸収入	1,447,623	4.3	73,850	0.6
地方債	1,401,057	4.2	-	-
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-
うち猶予特例債	-	-	-	-
うち臨時財政対策債	641,657	1.9	-	-
歳入合計	33,756,015	100.0	11,465,709	100.0

地方税の状況 (単位 千円・%)				
区分	収入済額	構成比	超過課税分	
普通税	6,212,179	96.7	84,297	
法定普通税	6,212,179	96.7	84,297	
市町村民税	2,957,086	46.0	84,297	
個人均等割	88,141	1.4	-	
所得割	2,401,554	37.4	-	
法人均等割	173,255	2.7	-	
法人税割	294,136	4.6	84,297	
固定資産税	2,693,985	41.9	-	
うち純固定資産税	2,680,628	41.7	-	
軽自動車税	172,251	2.7	-	
市町村たばこ税	388,857	6.1	-	
鉱産税	-	-	-	
特別土地保有税	-	-	-	
法定外普通税	-	-	-	
目的税	209,856	3.3	-	
法定目的税	209,856	3.3	-	
入湯税	27,244	0.4	-	
事業所税	-	-	-	
都市計画税	182,612	2.8	-	
水利地益税等	-	-	-	
法定外目的税	-	-	-	
旧法による税	-	-	-	
合計	6,422,035	100.0	84,297	

区分	令和3年度		令和2年度	
徴収率(%)	99.3	96.9	98.4	96.0
現・計	99.3	97.8	99.1	97.7
年	99.1	95.5	97.3	93.8
市町村民税				
純固定資産税				

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	3,342,083	実質収支	462
病院	933,075	再差引収支	-10,359
下水道	607,989	加入世帯数(世帯)	6,328
上水道	120,555	被保険者数(人)	10,034
工業用水道	-	被保険者	106
国民健康保険	436,431	保険税(料)収入額	
その他	1,244,033	1人当り	344
		国庫支出金	
		保険給付費	

歳出の状況 (単位 千円・%)				
区分	決算額 (A)	構成比	目的別歳出の状況 (単位 千円・%)	
議会費	192,002	0.6	-	192,002
総務費	10,846,695	34.1	738,213	2,903,870
民生費	7,802,657	24.5	53,923	3,249,908
衛生費	3,845,127	12.1	180,591	1,966,159
労働費	28,992	0.1	-	16,920
農林水産業費	267,598	0.8	51,207	144,806
商工費	1,527,219	4.8	-	555,280
土木費	2,394,102	7.5	959,487	1,285,288
消防費	1,088,573	3.4	238,152	901,869
教育費	2,329,671	7.3	423,707	846,108
災害復旧費	-	-	-	-
公債費	1,485,542	4.7	-	1,482,159
諸支出金	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-
歳出合計	31,808,178	100.0	2,645,280	13,544,369

性質別歳出の状況 (単位 千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	經常経費充当一般財源等	經常収支比率
義務的経費計	10,136,318	31.9	6,089,593	6,052,176	50.0
人件費	3,972,941	12.5	3,655,913	3,624,212	29.9
うち職員給	2,226,908	7.0	2,096,267	-	-
扶助費	4,677,835	14.7	951,521	945,805	7.8
公債費	1,485,542	4.7	1,482,159	1,482,159	12.2
元利償還金	1,485,542	4.7	1,482,159	1,482,159	12.2
うち元金	1,421,234	4.5	1,418,802	1,418,802	11.7
うち利子	64,308	0.2	63,357	63,357	0.5
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	19,026,580	59.8	6,864,657	3,896,734	32.2
物件費	8,139,111	25.6	1,364,988	681,565	5.6
維持補修費	337,548	1.1	4,210	2,819	0.0
補助費等	4,681,419	14.7	3,573,977	1,892,746	15.6
うち一部事務組合負担金	755,908	2.4	738,723	705,702	5.8
繰入金	1,680,464	5.3	1,359,619	1,294,404	10.7
積立金	4,162,838	13.1	536,663	-	-
投資・出資金・貸付金	25,200	0.1	25,200	25,200	0.2
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	2,645,280	8.3	590,119	-	-
うち人件費	56,687	0.2	56,687	-	-
普通建設事業費	2,645,280	8.3	590,119	-	-
うち補助	1,313,630	4.1	214,148	-	-
うち単独	1,288,465	4.1	372,486	-	-
災害復旧事業費	-	-	-	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	31,808,178	100.0	13,544,369	-	-

(注釈)  
普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

令和3年度 山梨県富士吉田市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	33,716	31,768	1,948	928	2,309	18,054	
2 看護専門学校特別会計	175	175	-	-	-	-	
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239				</			

# (3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

令和3年度

山梨県富士吉田市

人	47,744	人(R4.1.1現在)	実 質 赤 字 比 率	-	%
うち日本人	47,156	人(R4.1.1現在)	運 轉 実 質 赤 字 比 率	-	%
面積	121.74	km <sup>2</sup>	実 質 公 債 費 比 率	8.3	%
歳入総額	33,756,015	千円	得 来 負 担 比 率	0.8	%
歳出総額	31,808,178	千円	市 町 村 類 型	H29 I-2 H30 I-2 R01 I-2	
実収支	927,591	千円	( 年 度 毎 )	R02 I-2 R03 I-2	
標準財政規模	11,650,507	千円			
地方債現在高	18,054,050	千円			



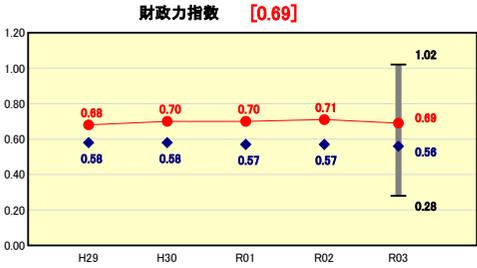
※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※令和4年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出してない団体については、グラフを表記しない。  
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。  
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。  
 ※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和3年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。  
 ※「定員管理の状況」の「人口1,000人当たり職員数」の算出に用いる職員数及び「給与水準(国との比較)」の「ラスパイレズ指数」については、各調査対象年度の翌年の地方公務員給与実態調査に基づいているが、令和3年度は令和3年調査の数値を引用している。

## 財政力

類似団体内順位 12/82 全国平均 0.50 山梨県平均 0.52

### 財政力指数の分析欄

法人市民税は前年比55百万円増加したものの、個人市民税は前年比139百万円減少、固定資産税においても前年比53百万円減少している。結果、市税等の減少により、財政力指数は0.69と昨年と比べ0.02ポイント下降した。安定した財政運営を行っていくため、税の徴収強化等により改善を図っていく。

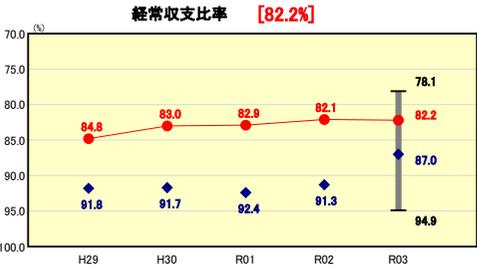


## 財政構造の弾力性

類似団体内順位 9/82 全国平均 89.9 山梨県平均 85.0

### 経常収支比率の分析欄

ふるさと納税寄附の増加により、寄附金が前年比1,096百万円増加した。寄附の意向に合った事業の展開により、経常経費を抑えている。しかし、人件費等の増加の影響もあり、経常収支比率は前年比0.1ポイント上昇した。  
 引き続き、ふるさと納税の幅広い活用による住民サービスの向上及び、地域発展に努めていく。また、事務事業の精査により、経費削減を図っていく。

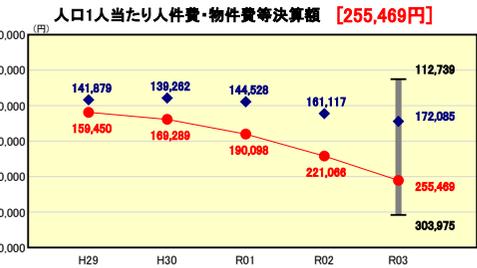


## 人件費・物件費等の状況

類似団体内順位 80/82 全国平均 155,088 山梨県平均 167,880

### 人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

人件費については、前年と比較増加している。その要因としては、令和3年人事院勧告等に基づく期末手当の減少があった一方、定年退職者数の増により前年比130.1%となったことや新型コロナウイルス感染症対策・新型コロナウイルスワクチン接種にかかる対応に伴う人件費の拡張が主な増加要因と考えられる。  
 物件費についても増加している。その要因としては、ふるさと納税寄附額の増加に伴い、返礼に対する委託料が増加していることが影響している。

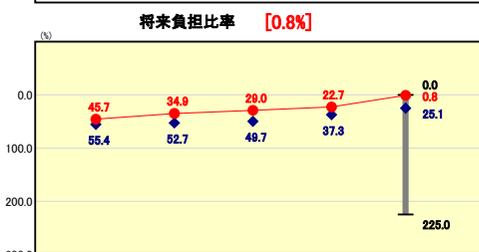


## 将来負担の状況

類似団体内順位 20/82 全国平均 15.4 山梨県平均 5.7

### 将来負担比率の分析欄

充当可能基金が、前年比2,329百万円の増加となった。主な要因としては、ふるさと振興基金が前年比1,684百万円増となっている。また、退職負担見込額の減少により、将来負担額も減少している。これらの理由により、将来負担比率が21.9ポイント改善した。  
 今後、公共施設等の長寿命化等が見込まれるため、起債の抑制や財源の確保に取り組む。

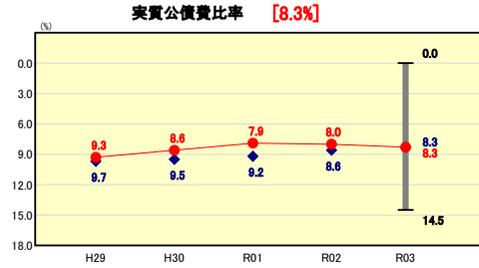


## 公債費負担の状況

類似団体内順位 37/82 全国平均 5.5 山梨県平均 7.7

### 実質公債費比率の分析欄

令和2年度における元利償還額や公営企業への繰出金の金額が大きかったことから、実質公債費比率は0.3ポイント悪化している。また、大規模事業の据置期間も終了するため、今後実質公債費比率の上昇が見込まれる。  
 引き続き、安定した財政運営を継続していくため、公債費の抑制や公共施設の維持管理を効果的に取り組む。



## 定員管理の状況

類似団体内順位 30/82 全国平均 8.21 山梨県平均 7.94

### 人口1,000人当たり職員数の分析欄

平成28年度までは職員数は山梨県平均と同程度であり、全国平均、類似団体平均ともに下回っていた。その要因としては、富士吉田市新集中改革プラン(H22~H27)において、病院職員を除く職員数の4.17%(17人)減という目標を掲げ、一般職においては退職補充6割を基本に、毎年人員減を継続してきたためと考えられる。しかし、増加する事務量への対応も限界に来ており、保育園等、市民のニーズや業務量に応じた人事配置の結果、令和3年度については人口減少も重なり、微増傾向が続いている。引き続き、これらのことに留意しながら職員定数の管理を行いつつ、適正な職員配置を検討していく。

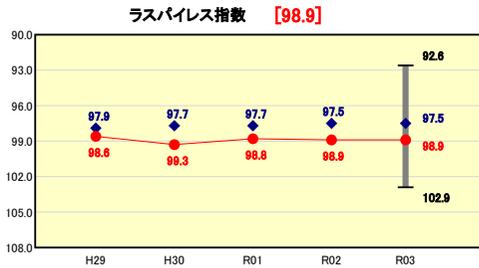


## 給与水準 (国との比較)

類似団体内順位 60/82 全国市平均 98.8 全国町村平均 96.3

### ラスパイレズ指数の分析欄

令和2年度については、人事異動等による経験年数別の職員構成の変動等の理由により前年より増加に転じていた。  
 令和3年度は、変動はないものの、引き続き全国市平均を上回っている結果となっている。



# (4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和3年度

山梨県富士吉田市

## 経常収支比率の分析

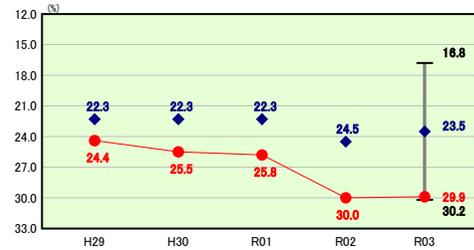
人口	47,744	人(R4.1.1現在)	実収赤字比率	-	%
うち日本人	47,156	人(R4.1.1現在)	連結実収赤字比率	-	%
面積	121.74	km <sup>2</sup>	実収公債費比率	8.3	%
歳入総額	33,756,015	千円	将来負担比率	0.8	%
歳出総額	31,808,178	千円	市町村類型	H29 I-2 H30 I-2 R01 I-2	
実収収支	927,591	千円	(年度毎)	R02 I-2 R03 I-2	
標準財政規模	11,650,507	千円			
地方債現在高	18,054,050	千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和3年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

### 人件費

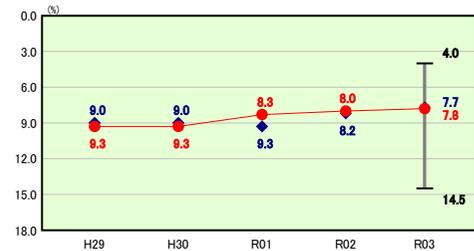
類似団体内順位 81/82 全国平均 25.2 山梨県平均 22.7



**人件費の分析欄**  
 人件費については、令和3年人事院勧告等に基づく期末手当の減少があった一方、定年退職者数の増により前年比130.1%となったことや新型コロナウイルス感染症対策・新型コロナワクチン接種にかかる対応に伴う人件費の拡張があり、前年とほぼ同水準となっている。

### 扶助費

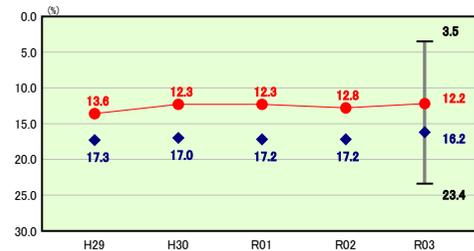
類似団体内順位 41/82 全国平均 12.0 山梨県平均 8.4



**扶助費の分析欄**  
 保育施設等給付事業や、介護給付事業等の増加により扶助費が増加しているものの、その分の国庫補助金等の特定財源の充当が前年と比べて大きかった。そのため、0.2ポイントの改善となっている。

### 公債費

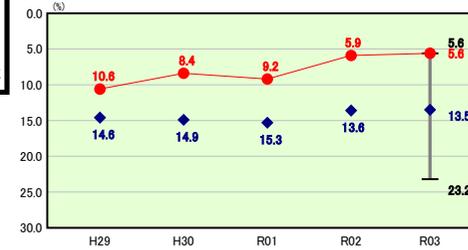
類似団体内順位 10/82 全国平均 15.7 山梨県平均 15.7



**公債費の分析欄**  
 公営企業への繰入金の減少に伴い、0.6ポイントの改善となっている。今後、公共施設の長寿命化に伴う起債の発行が見込まれることから、事業実施の見直し等を行い、地方債の新規発行の抑制等に努める。

### 物件費

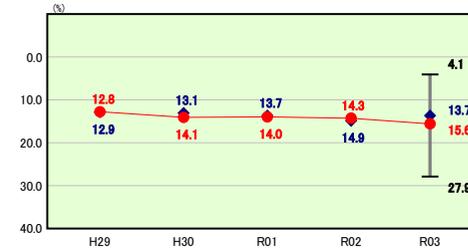
類似団体内順位 1/82 全国平均 13.8 山梨県平均 13.1



**物件費の分析欄**  
 ふるさと納税寄附金の増加により、寄附の意向に合った事業への充当が増えたため、前年と比較し0.3ポイントの改善となった。

### 補助費等

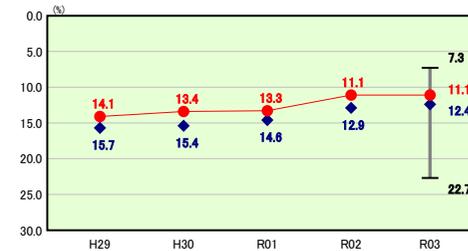
類似団体内順位 53/82 全国平均 10.2 山梨県平均 15.3



**補助費等の分析欄**  
 富士五湖広域行政事務組合への負担金増加等により、前年と比較し1.3ポイントの悪化となった。今後も引き続き事業の適正化を図り、急激な負担金の増加がないよう適正な財政運営に努める。

### その他

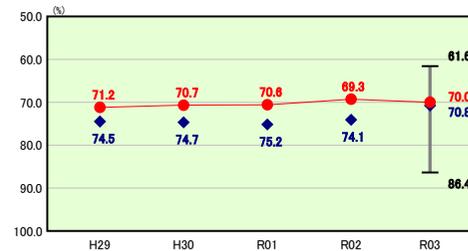
類似団体内順位 21/82 全国平均 12.0 山梨県平均 9.8



**その他の分析欄**  
 国民健康保険特別会計や後期高齢者医療特別会計への繰入金等が増加しているものの、維持補修費等の減少もあり前年と同水準となっている。

### 公債費以外

類似団体内順位 35/82 全国平均 73.2 山梨県平均 69.3



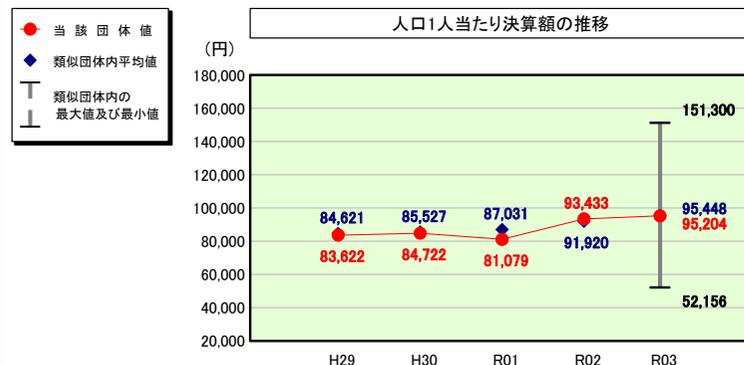
**公債費以外の分析欄**  
 ふるさと納税の充当により物件費等は改善が図られているものの、扶助費や補助費等の増加により、前年と比較し0.7ポイントの悪化となっている。今後においても、人件費や補助費等の上昇抑制のため、事業の適正化や見直しを図り、安定した財政運営に努める。

## (4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和3年度

山梨県富士吉田市

### 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

### 人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	3,972,941	83,213	87,308	▲ 4.7
一部事務組合負担金(補助費等)	499,561	10,463	7,758	34.9
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	146,978	3,078	2,064	49.1
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	9	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	178,441	3,737	2,858	30.8
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	56,687	1,187	1,616	▲ 26.5
▲退職金	▲ 309,174	▲ 6,476	▲ 6,164	5.1
合計	4,545,434	95,204	95,448	▲ 0.3

### 参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	7.94	8.85	▲ 0.91
ラスパイレス指数	98.9	97.5	1.4

### 公債費及び公債費に準ずる費用の分析

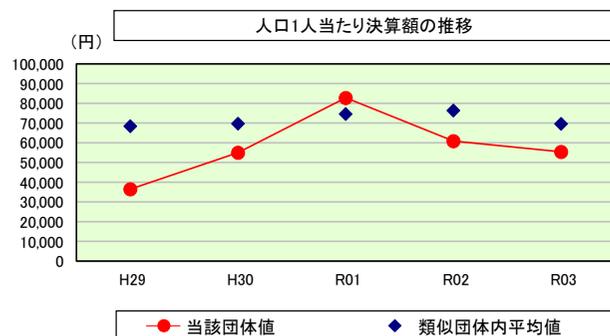


### 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	1,485,542	31,115	54,035	▲ 42.4
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	20	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	778,125	16,298	18,791	▲ 13.3
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	31,559	661	2,664	▲ 75.2
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	-	-	620	-
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	2	-
▲特定財源の額	▲ 136,396	▲ 2,857	▲ 4,196	▲ 31.9
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1,300,472	▲ 27,238	▲ 50,476	▲ 46.0
合計	858,358	17,978	21,460	▲ 16.2

※令和4年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

### (参考) 普通建設事業費の分析



### 普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H29	1,808,395	36,461	▲ 57.6	68,468	3.9	▲ 61.5
うち単独分	1,217,175	24,541	▲ 57.3	34,140	▲ 6.4	▲ 50.9
H30	2,704,170	55,019	50.9	69,729	1.8	49.1
うち単独分	1,107,101	22,525	▲ 8.2	38,908	14.0	▲ 22.2
R01	4,022,167	82,795	50.5	74,581	7.0	43.5
うち単独分	1,669,051	34,357	52.5	41,563	6.8	45.7
R02	2,931,804	60,847	▲ 26.5	76,347	2.4	▲ 28.9
うち単独分	1,273,142	26,423	▲ 23.1	41,762	0.5	▲ 23.6
R03	2,645,280	55,405	▲ 8.9	69,604	▲ 8.8	▲ 0.1
うち単独分	1,288,465	26,987	2.1	36,247	▲ 13.2	15.3
過去5年間平均	2,822,363	58,105	1.7	71,746	1.3	0.4
うち単独分	1,310,987	26,967	▲ 6.8	38,524	0.3	▲ 7.1

# (5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

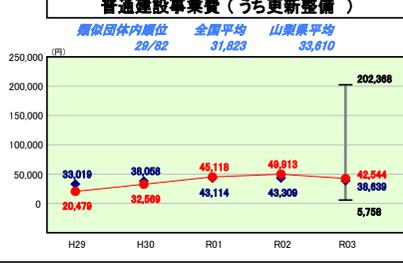
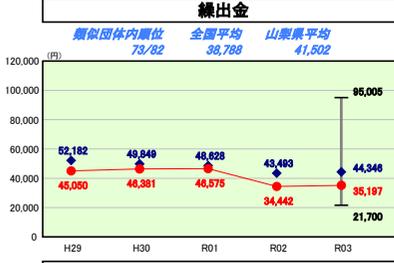
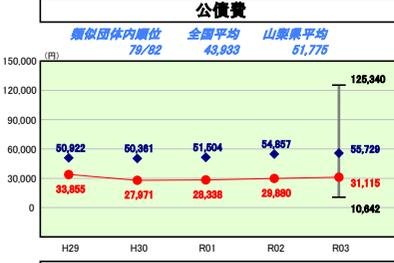
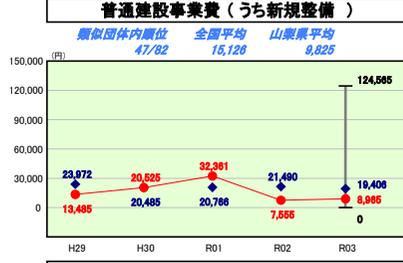
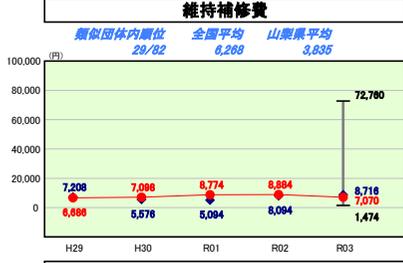
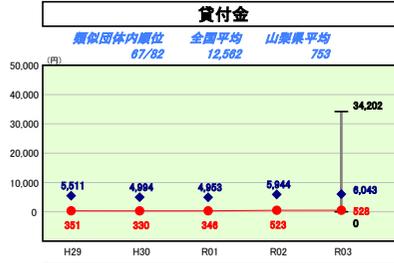
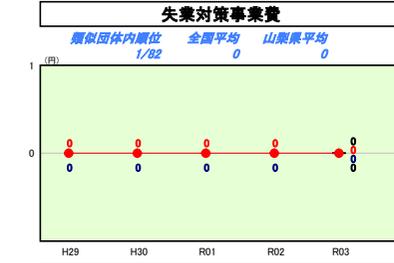
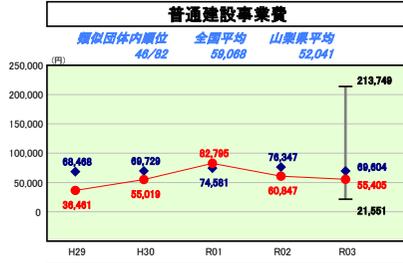
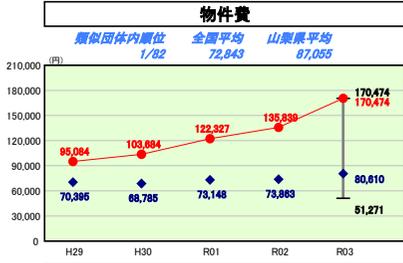
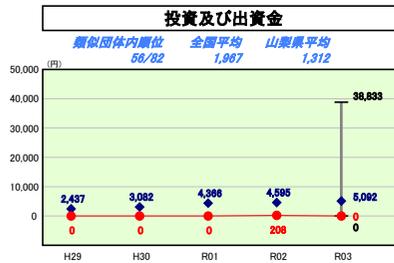
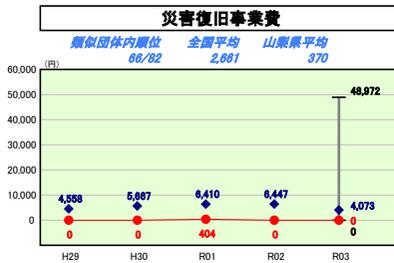
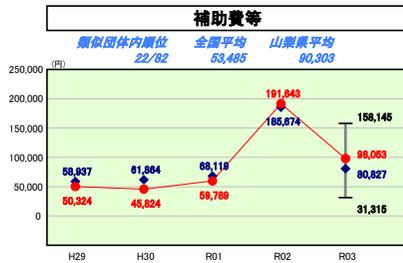
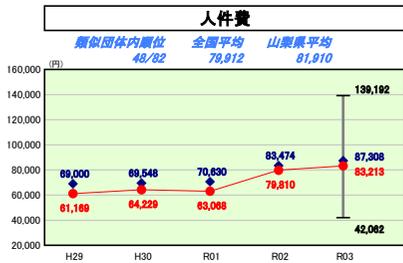
令和3年度

山梨県富士吉田市

人口	47,744 人 (R4.1.1現在)	実質赤字比率	- %
うち日本人	47,166 人 (R4.1.1現在)	連結実質赤字比率	- %
面積	121.74 km <sup>2</sup>	実質公債費比率	8.3 %
入総額	33,756,015 千円	将来負担比率	0.8 %
出総額	31,808,178 千円	市町村類型	H29 I-2 H30 I-2 R01 I-2
実収支	927,581 千円	(年度毎)	R02 I-2 R03 I-2
標準財政規模	11,650,507 千円		
地方債現在高	18,054,050 千円		

● 当該団体値  
◆ 類似団体内平均値  
T 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和3年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



**性質別歳出の分析**

物件費については、「ふるさと寄附推進事業」の成果により、寄附額が増額していることから、返礼に伴う費用が増加していることが影響している。  
 扶助費については、給付金支給事業等の実施により事業費が増加している。  
 補助費については、令和2年度実施した新型コロナウイルス感染症対策に係る事業(特別定額給付金給付事業等)分の減少により、補助費が減少している。  
 普通建設事業費については、ごみ処理施設長寿命化事業の完了等により減少している。  
 積立金については、ふるさと納税寄附額の増加により、ふるさと振興基金への積立額が増加している。

# (6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

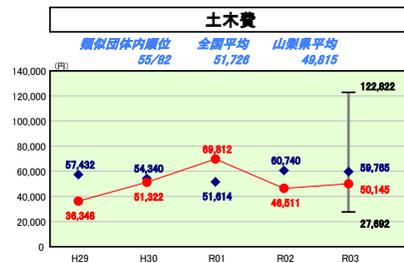
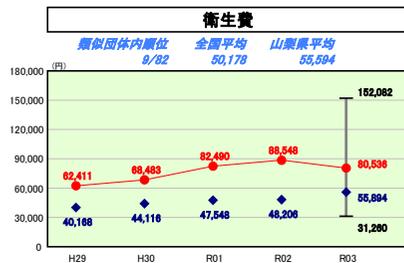
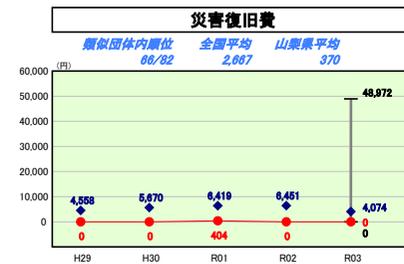
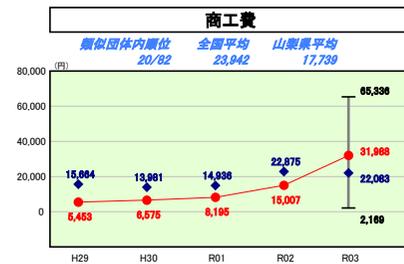
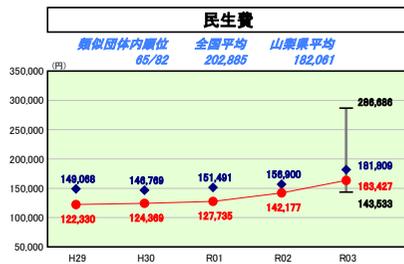
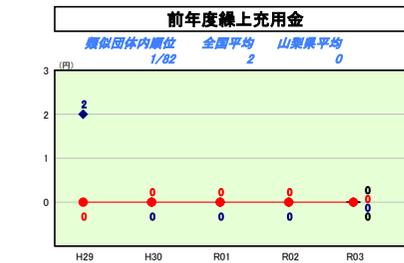
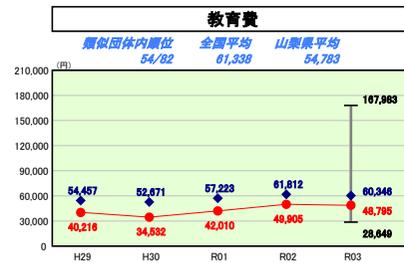
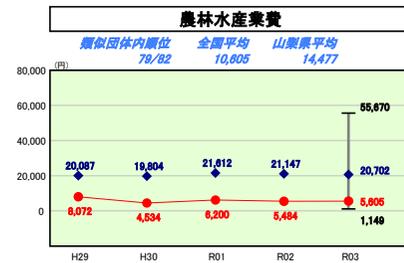
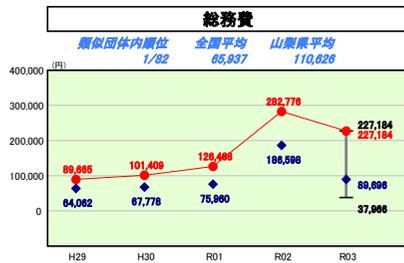
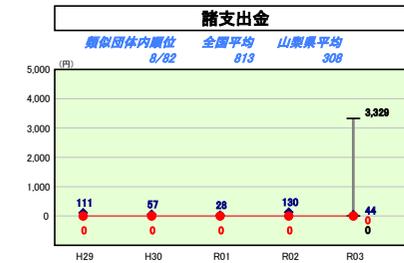
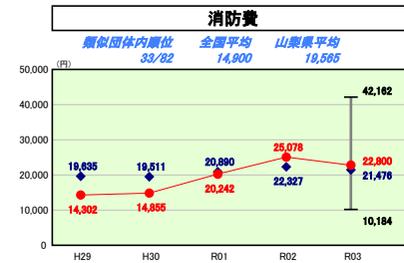
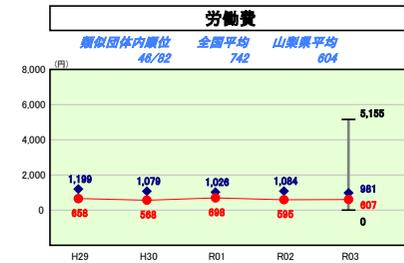
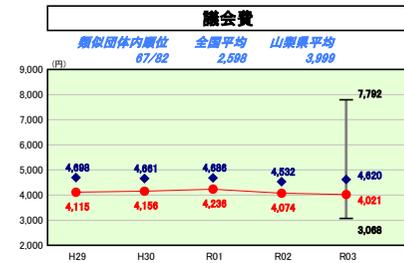
令和3年度

山梨県富士吉田市

人口	47,744人(04.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	47,166人(04.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	121.74km <sup>2</sup>	実質公債比率	8.3%
歳入総額	33,756,015千円	実負担比率	0.8%
歳出総額	31,808,178千円	市町村類型	H29 I-2 H30 I-2 R01 I-2
実収支	927,581千円	(年度毎)	R02 I-2 R03 I-2
標準財政規模	11,650,507千円		
地方債現在高	18,054,050千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和3年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



## 目的別歳出の分析額

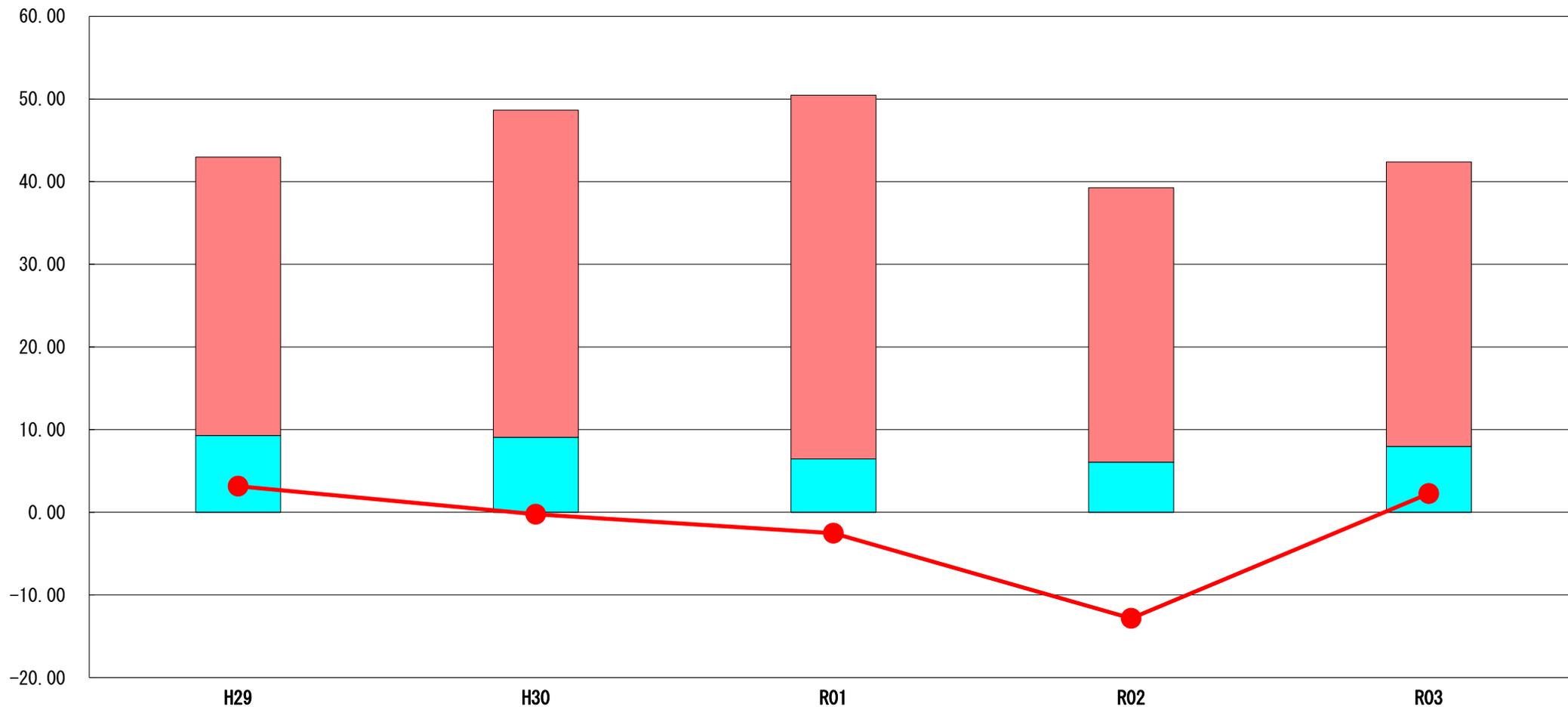
総務費については、令和2年度実施した特別定額給付金給付事業等分の減により、昨年と比べ減少しているものの、ふるさと納税寄附額の増加による返礼に係る経費が増加していることから、類似団体の中では最も高くなっている。  
 民生費については、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金支給事業や子育て世帯への臨時特別給付金給付事業の実施により増加している。  
 衛生費については、ごみ処理施設長寿命化事業の完了等を要因に減少している。  
 商工費については、企業立地促進事業における企業への助成金が主な要因となり増加している。  
 土木費については、横町熊穴線外2路線整備事業等の実施に伴い増加している。  
 消防費については、防災対策事業における緊急情報伝達システム整備工事の完了により減少している。

# (7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

令和3年度

山梨県富士吉田市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H29	H30	R01	R02	R03
 財政調整基金残高		33.69	39.59	44.01	33.20	34.43
 実質収支額		9.29	9.07	6.46	6.07	7.96
 実質単年度収支		3.15	▲ 0.25	▲ 2.54	▲ 12.84	2.27

分析欄

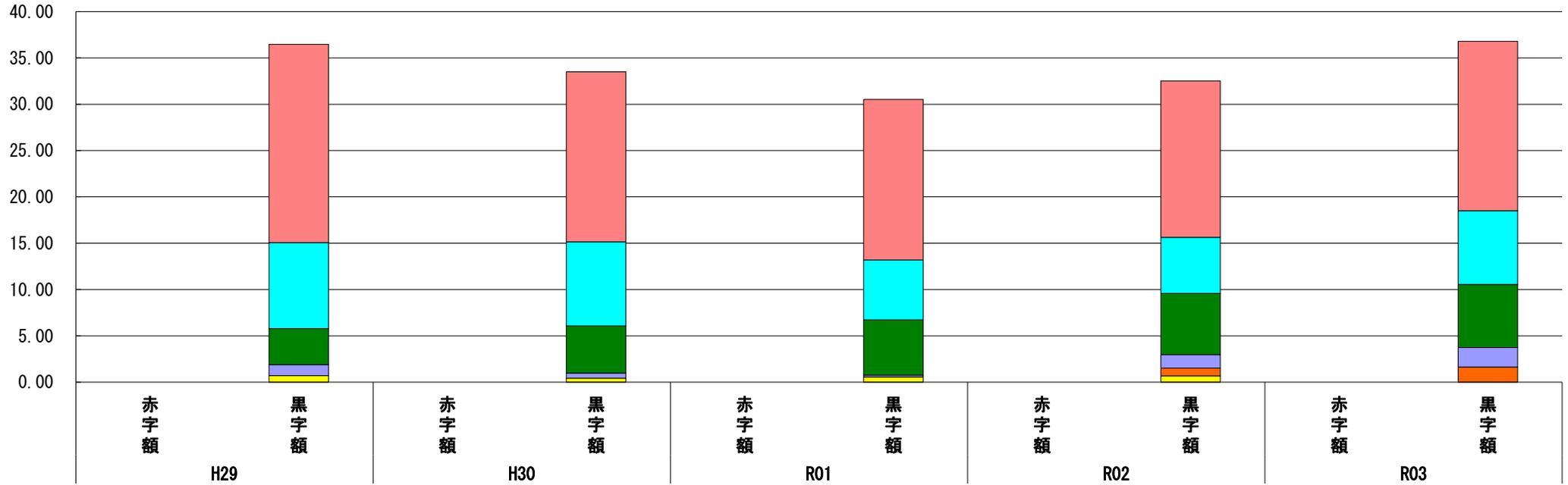
ふるさと納税及び地方交付税の増額により財源の確保が行えたことから、財政調整基金への積立ができ、また、積立金の取崩が無かったことから、実質単年度収支の改善につながった。

# (8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析 (市町村)

令和3年度

山梨県富士吉田市

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

会計	年度	H29	H30	R01	R02	R03
市立病院事業会計		21.41	18.36	17.34	16.89	18.29
一般会計		9.28	9.07	6.45	6.06	7.96
水道事業会計		3.88	5.09	5.97	6.61	6.80
介護保険特別会計		1.20	0.56	0.20	1.45	2.10
下水道事業会計		-	-	-	0.85	1.64
国民健康保険特別会計		0.70	0.42	0.56	0.67	0.00
看護専門学校特別会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
介護予防支援事業特別会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他会計 (赤字)		-	-	-	-	-
その他会計 (黒字)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

## 分析欄

一般会計及び全ての特別会計、事業会計において赤字額は生じていない。引き続き、各会計において適正な財政運営、企業経営を行っていく。

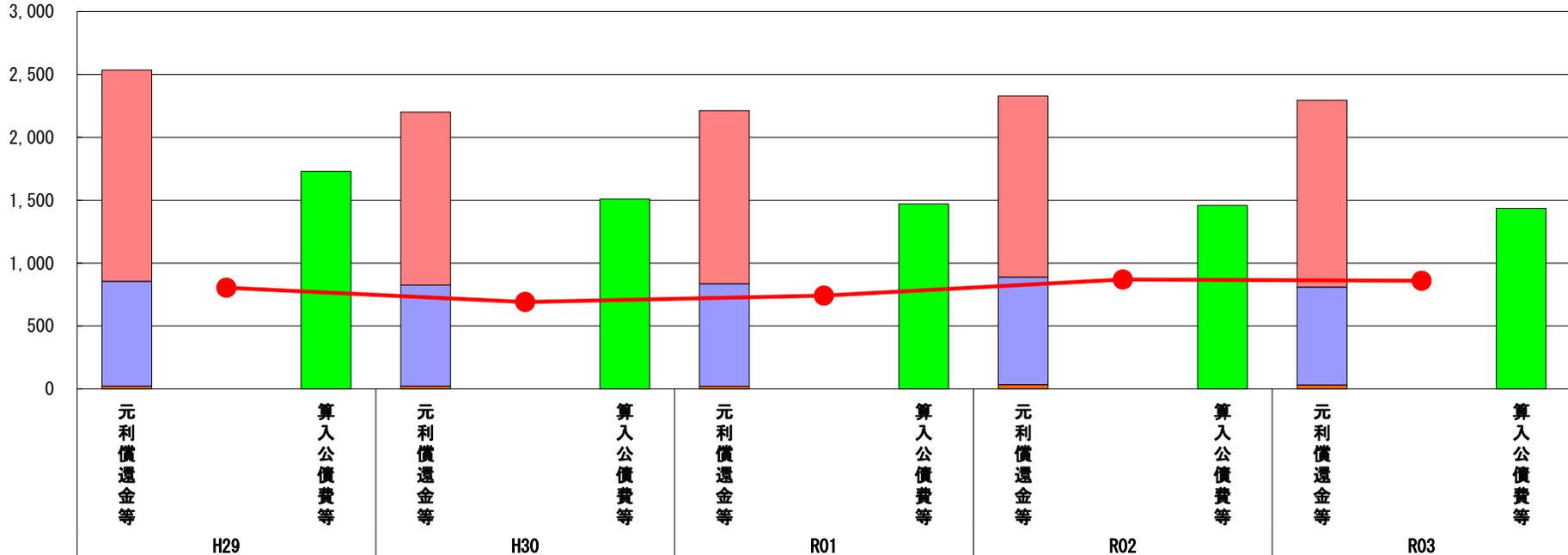
※令和4年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

令和3年度

山梨県富士吉田市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H29	H30	R01	R02	R03
元利償還金等 (A)	元利償還金		1,679	1,375	1,377	1,440	1,486
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		833	803	814	855	778
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		23	23	22	34	32
	債務負担行為に基づく支出額		-	-	-	-	-
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		1,730	1,510	1,471	1,459	1,436
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		805	691	742	870	860

**分析欄**

中学校校舎、保育園、し尿処理施設等の工事に係る起債の償還据置期間終了に伴い、償還金が増額となっている。

今後も、直近の大規模事業の元金償還の据置期間が終了することに伴う償還金額の増加や、老朽化した公共施設の長寿命化等に伴う新規起債の発行も見込まれる。事業の精査を行い、優先順位の見極めや事業の適正化を図り、新規起債発行の抑制に努める。

※1 令和4年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。  
(参考) (百万円)

※2 減債基金積立状況等		年度	H28末	H29末	H30末	R01末	R02末
減債基金残高 (注)							
減債基金積立相当額							

**分析欄**

現在、積立は行っていない。今後の事業の状況や各種計画等の変更によっては、積立も検討していく。

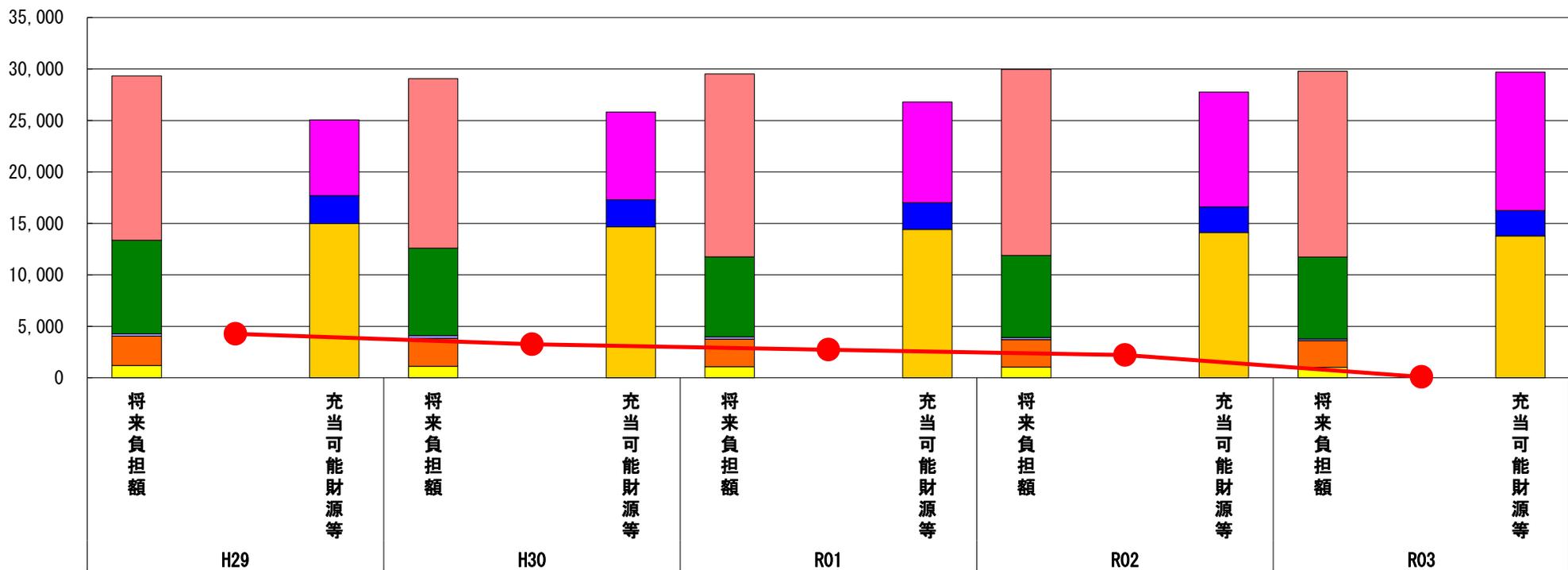
(注) 減債基金残高のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源として積み立てた額に係るもののみを記入。  
減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

# (10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和3年度

山梨県富士吉田市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H29	H30	R01	R02	R03
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		15,973	16,471	17,764	18,074	18,054
	債務負担行為に基づく支出予定額		-	-	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額		9,089	8,491	7,771	7,970	7,941
	組合等負担等見込額		233	273	240	207	177
	退職手当負担見込額		2,845	2,704	2,665	2,657	2,601
	設立法人等の負債額等負担見込額		1,195	1,127	1,082	1,052	1,011
	うち、健全化法施行規則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		7,355	8,509	9,783	11,130	13,459
	充当可能特定歳入		2,727	2,637	2,592	2,518	2,456
	基準財政需要額算入見込額		14,982	14,661	14,420	14,103	13,782
(A) - (B)	将来負担比率の分子		4,272	3,259	2,727	2,209	86

## 分析欄

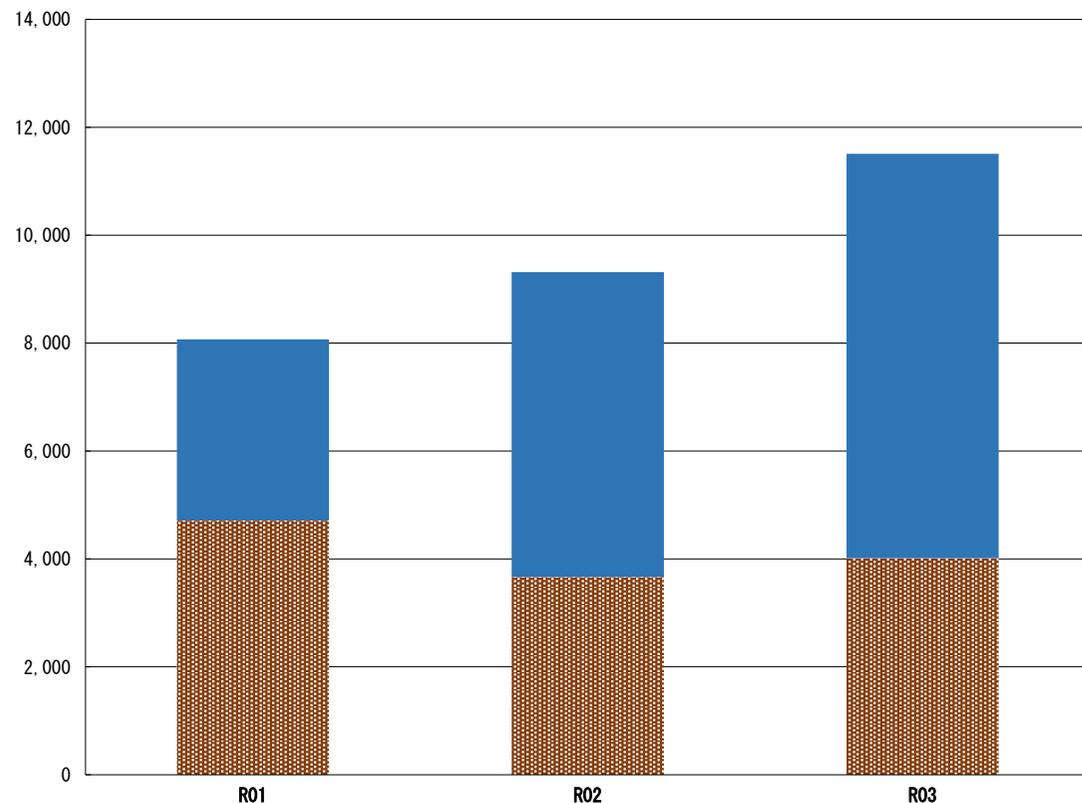
退職手当負担等見込額の減少や、ふるさと振興基金の増額を要因とする充当可能基金の増額により、将来負担比率が大幅に改善されている。

今後、公共施設の老朽化に伴う長寿命化事業の実施により、大規模な地方債の発行が見込まれるため、引き続き公共施設の適切な維持管理を進めていく。また、人口減少や少子化など将来の状況を見据えて、施設の統廃合を検討していく。

※令和4年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）

(百万円)



(百万円)

区分	年度	R01	R02	R03
財政調整基金		4,711	3,665	4,012
減債基金		3	3	3
その他特定目的基金		3,355	5,646	7,493
ふるさと振興基金		1,236	2,867	4,551
公共施設整備基金		409	419	729
土地開発公社経営健全化基金		528	587	623
教育文化振興基金		370	357	343
地域福祉基金		318	318	318
基金残高合計		8,068	9,314	11,508

令和3年度

山梨県富士吉田市

## 基金全体

(増減理由)

ふるさと納税寄附額が前年度より13.87億円増加したことが、増加の要因となっている。  
ふるさと納税寄附額は毎年増加しており、基金全体の額も大きく増加している。

(今後の方針)

その他特定目的基金については、各基金事業の計画に基づいて積立及び取崩を行っていく。  
財政調整基金については、財政運営状況や市政施策の展開や効果の様子など、適宜状況を見て判断していく。

## 財政調整基金

(増減理由)

地方交付税、ふるさと納税、財産収入の増加により、3.47億円の増加となった。

(今後の方針)

引き続き、財政運営状況や第6次富士吉田市総合計画を基本とした各施策の取組状況、市民生活や地域社会の状況などあらゆる観点から総合的に考慮し、各事業の展開の財源として検討していく。

## 減債基金

(増減理由)

増減なし。

(今後の方針)

積立予定なし。

## その他特定目的基金

(基金の用途)

魅力ある地域づくりを推進するための基金  
土地開発公社が市に代わって先行取得した土地を買い取るための基金  
感染症対策実施のための基金  
公共用に供する土地取得及び施設の建設整備基金  
教育施設の建設及び文化振興の基金

(増減理由)

ふるさと納税寄附額の増加に伴い、ふるさと振興基金が増加した。  
公共施設整備基金以下は、各基金事業の計画に則った積立及び取崩を行った残高になる。

(今後の方針)

各基金事業の計画に則り進めていく。  
事業の計画において、各種状況を見ながら計画修正を検討しつつ、基金の活用と効果の拡大が図れるよう取り組んでいく。

# (12)市町村公会計指標分析／財政指標組合せ分析表

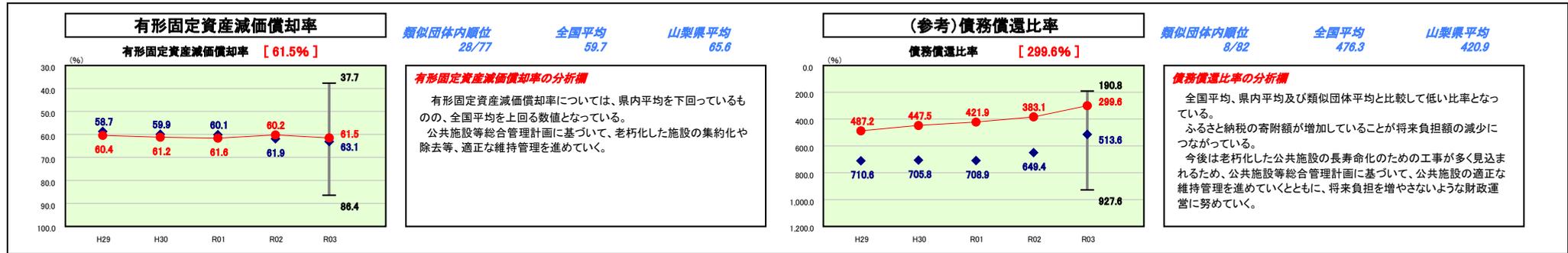
令和3年度

山梨県富士吉田市

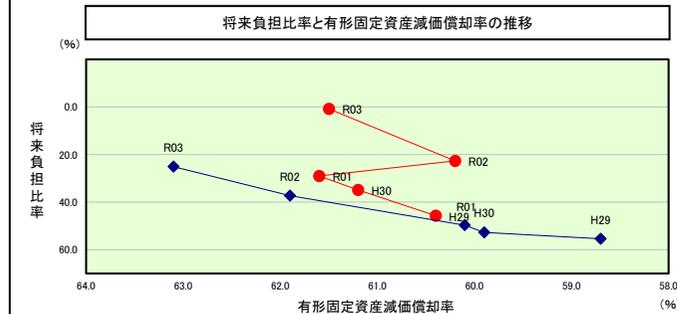
人口	47,744人	(R4.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	47,156人	(R4.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	121.74	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	8.3	%
歳入総額	33,756,015	千円	将来負担比率	0.8	%
歳出総額	31,808,178	千円	市町村類型	H29 I-2 H30 I-2 R01 I-2	
実質収支	927,591	千円	(年度毎)	R02 I-2 R03 I-2	
標準財政規模	11,650,507	千円			
地方債現在高	18,054,050	千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和3年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。  
 ※ 令和4年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体毎の決算に基づく健全化判断比率等を算出していない団体については、債務償還比率、実質公債費率、将来負担比率のグラフを表記しない。  
 ※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。



## 将来負担比率及び有形固定資産減価償却率の組合せによる分析

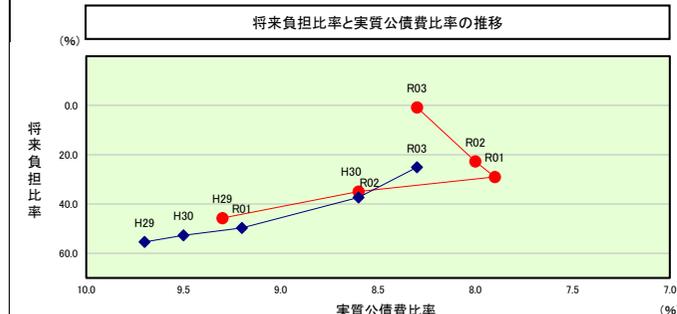


**分析欄**  
 将来負担比率は、市の基金総額の増加に伴い改善されており、類似団体と比べて低い水準にある。有形固定資産減価償却率は、類似団体と比べて低い水準にあるものの上昇に転じている。公共施設等総合管理計画に基づいて、老朽化した施設の長寿命化改修等、適正な維持管理を行っていく。

(参考)

		H29	H30	R01	R02	R03
当該団体値	将来負担比率	45.7	34.9	29.0	22.7	0.8
	有形固定資産減価償却率	60.4	61.2	61.6	60.2	61.5
類似団体内平均値	将来負担比率	55.4	52.7	49.7	37.3	25.1
	有形固定資産減価償却率	58.7	59.9	60.1	61.9	63.1

## 将来負担比率及び実質公債費比率の組合せによる分析



**分析欄**  
 将来負担比率は、市の基金総額の増加に伴い改善されており、類似団体と比べて低い水準にある。実質公債費比率は、大規模事業に係る起債の償還の据置期間が終わったこと等に伴い比率が増加している。今後は償還の据置期間の終了に伴い公債費の増加が見込まれるため、公共施設の適正な維持管理を行うことで、新規起債の発行抑制につなげる。

(参考)

		H29	H30	R01	R02	R03
当該団体値	将来負担比率	45.7	34.9	29.0	22.7	0.8
	実質公債費比率	9.3	8.6	7.9	8.0	8.3
類似団体内平均値	将来負担比率	55.4	52.7	49.7	37.3	25.1
	実質公債費比率	9.7	9.5	9.2	8.6	8.3

# (13)-1市町村施設類型別ストック情報分析表①

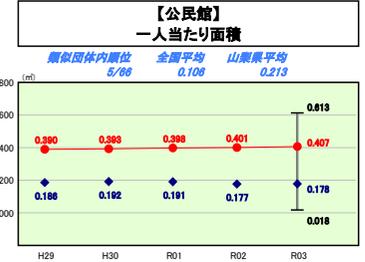
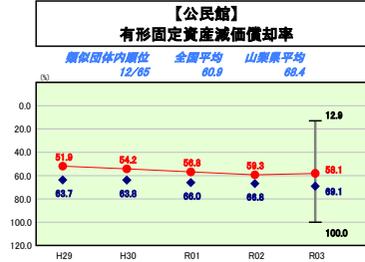
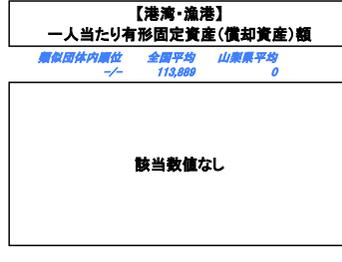
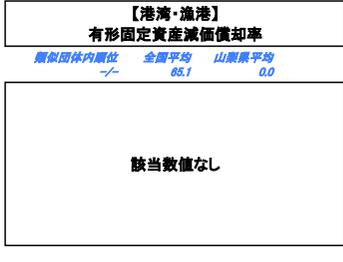
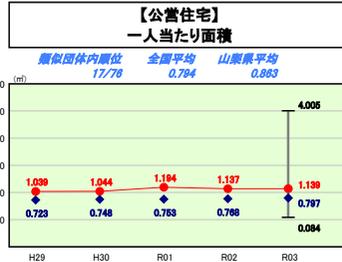
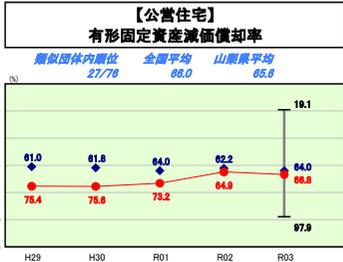
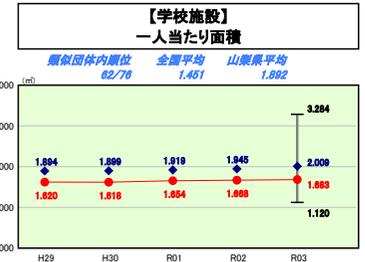
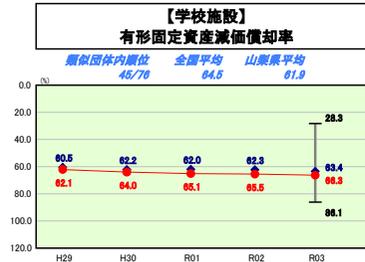
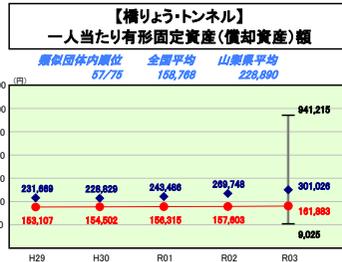
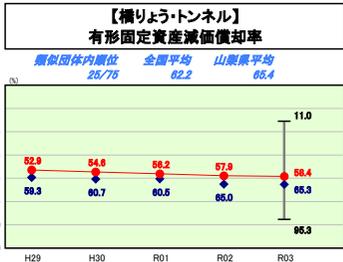
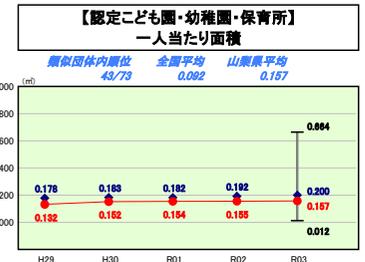
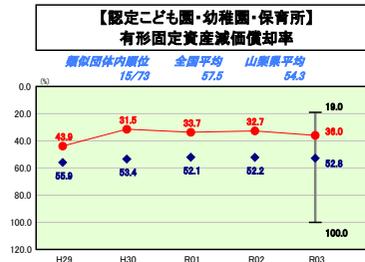
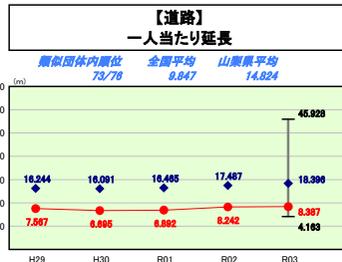
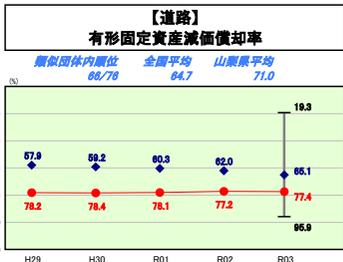
令和3年度

山梨県富士吉田市

人口	47,744	人(※4.1.1調査)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	47,158	人(※4.1.1調査)	道新実質赤字比率	-	%
面積	121.74	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	8.3	%
歳入総額	33,766,015	千円	将来負担比率	0.8	%
歳出総額	31,808,178	千円	市町村別型	H29 I-2 H30 I-2 R01 I-2	
実質収支	927,591	千円	(年度毎)	R02 I-2 R03 I-2	
標準財政規模	11,650,507	千円			
地方債残高	18,054,050	千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和3年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。  
 ※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答があった団体に関するもの。



**施設情報の分析**

有形固定資産減価償却率について、道路、学校施設、公営住宅で全国平均、県平均、類似団体内平均を上回っている。  
 学校施設については、建築から30年以上迎える建物が増えてきている。公共施設等総合管理計画に基づいて適正な維持管理を行い、施設の統廃合の検討や長寿命化など適宜努めていく。  
 公営住宅においては、償却が進んだことから有形固定資産原価率は上昇に転じている。今後も公共施設等総合管理計画に基づいて適正な維持管理を行い改善に努める。  
 道路においても、各市道の交通量や状況等を見て、早急の対応が必要な箇所については適宜行っていく。

# (13)-2市町村施設類型別ストック情報分析表②

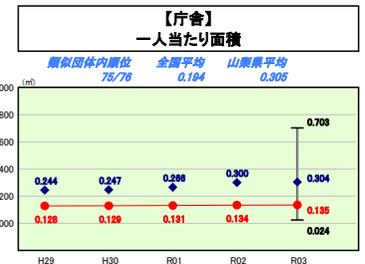
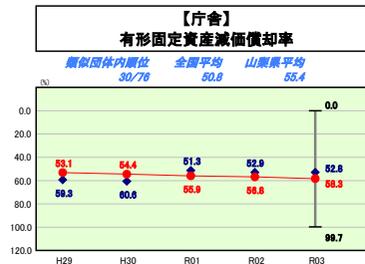
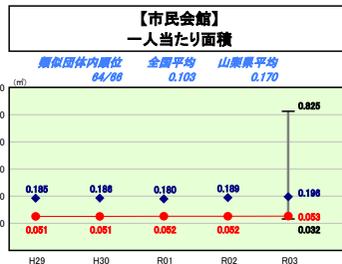
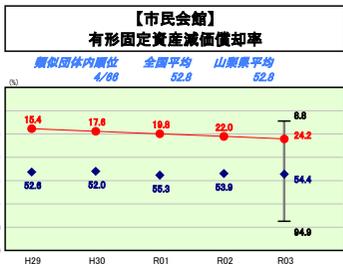
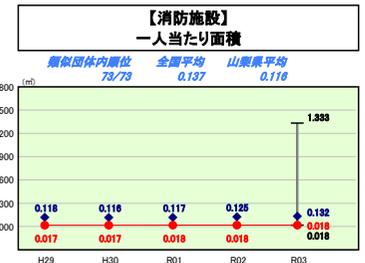
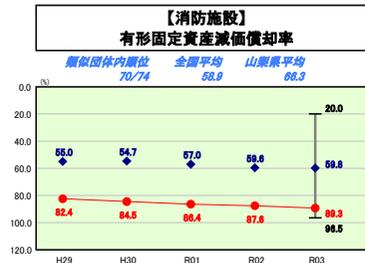
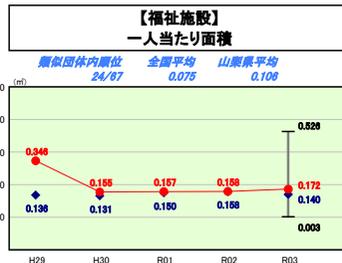
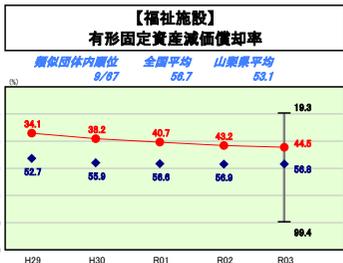
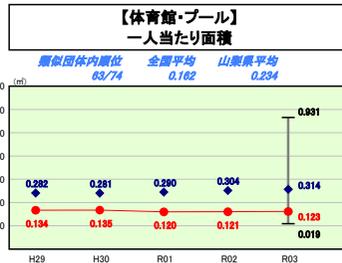
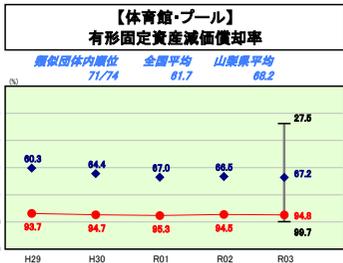
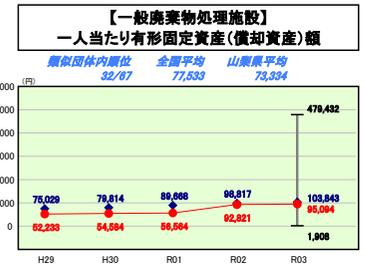
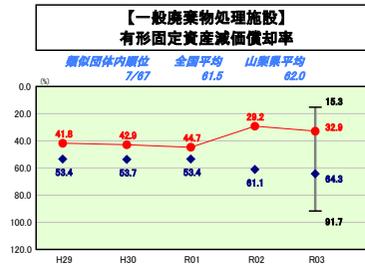
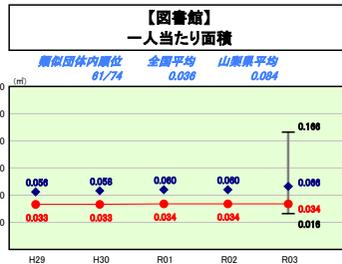
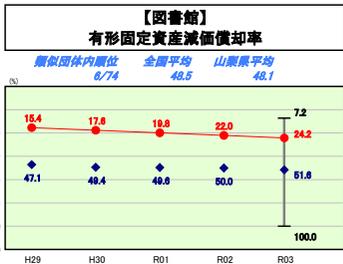
令和3年度

山梨県富士吉田市

人口	47,744人	(R4.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	47,158人	(R4.1.1現在)	道対実赤字比率	-%
面積	121.74k㎡		実質公債費比率	8.3%
歳入総額	33,766,015千円		将来負担比率	0.8%
歳出総額	31,806,178千円		市町村類型	H29 I-2 H30 I-2 R01 I-2
実質収支	927,591千円		(年度毎)	R02 I-2 R03 I-2
標準財政規模	11,650,507千円			
地方債現在高	18,054,050千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和3年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。  
 ※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答があった団体に関するもの。



#### 施設情報の分析値

体育館・プール、消防施設、庁舎が全国平均、県平均、類似団体平均を上回っている。  
 プールについては、民間施設の活用や近隣学校で共用を調査・研究を進めており、適正な維持管理を進めていく。  
 消防施設は、防災の観点からも現状を把握し、緊急時でも活用できる施設や設備として維持管理を引き続き進めていく。  
 庁舎については、他の公共施設の状況を踏まえて引き続き改善に努めていく。